

階

【きざはし】

～社会科教育を考える～

No.50

2024年1月



池上彰のインタビュー
今回は 野村 萬齋 さん

- 池上彰のインタビュー⑤0
自分の生を証明し続ける狂言の道 2
野村 萬齋 狂言師
- わたしの一里塚
和紙の種を蒔く 8
谷野 裕子 手漉き和紙 たにの 主宰
- ここに教育あり
起郷家教育の推進
～全市で取り組むキャリア教育体系～ 10
橋本 勝 静岡県牧之原市教育委員会 教育長
- 社会と教育の架け橋
「アンコンシャスバイアス」に気づくことの大切さ
～子どもたちの可能性が広がることをめざして～ 12
守屋 智敬 一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所 代表理事
- 異国日本の地に立って
日本での学びをスリランカの未来へ生かしたい 14
ウヤン ヘーワージー ミヌラ ギトゥマル ジナダーサ
公益財団法人 守屋留学生交流協会 第11回倉敷市守屋奨学生
- 子どもと、ともに
「伊敷長なす里帰りプロジェクト」を通して
郷土を愛する心を育む 裏表紙
鹿児島県鹿児島市立玉江小学校
- 資料
空から京都を見てみよう

子どもと、ともに (裏表紙掲載)

今回は鹿児島県鹿児島市立玉江小学校の取り組み



6年生から引き継いだ苗を
心を込めて植えました。

子どもと、ともに



▲大学の先生から肥料の役割について詳しく教えていただきました。



▲いよいよ収穫です。長くて太い立派な伊敷長なすができました。薄紫の皮の色が特徴です。



▲自分たちで鋤を使って畑を耕し、畝づくりを行いました。



▲伊敷長なすを使ったピザづくりにチャレンジ。甘みがあり、チーズにも合います。

「伊敷長なす^{いしき}里帰りプロジェクト」を通して郷土を愛する心を育む

鹿児島県鹿児島市立玉江小学校

本校は、鹿児島市中心部の北側に位置し、創立145年、児童数787人、学級数33学級の大規模校である。近隣に中学校、特別支援学校、聾学校、高等学校、短期大学等がある文教地区に建つ。

本校では、令和3年度から第5学年の総合的な学習の時間に、郷土の伝統野菜である「伊敷長なす^{いしき}」の栽培活動を取り入れ、「伊敷長なす里帰りプロジェクト」という取組のもと、伊敷長なすの良さを知り、地域に広める学習活動に取り組んでいる。

●「伊敷長なす里帰りプロジェクト」とは

「伝統野菜って何？」という児童たちに、鹿児島大学の中野八伯技術専門職員から私たちの住む伊敷地区で伝統野菜・伊敷長なすが栽培されてきたことを教えていただいた。生産者が減少し、このままでは絶滅してしまうかもしれないことを知る。「自分たちが守っていこう」という意欲を高めた5年生。育てるだけでなく、広め、継承する「伊敷長なす里帰りプロジェクト」が始動した。

●伊敷長なすを育て、広げ、つなげよう

毎年ご指導くださる中野先生の話から「食べてみたい」という思いを強める子どもたち。6年生が前年の収穫後に種から育ててくれた苗を一人ず

つ引き継ぐと、早速、自分たちで自主的に畑の草取りを開始した。鋤を使って畑を耕し、畝を作り、マルチ（土の水分保持等の覆い）を張った。ゲストティーチャーの大学生に教えてもらいながら、自分の苗に名前を付け、丁寧に植えていった。

水やりや草取りをがんばり、生長も観察し、いよいよ収穫。料理のプロからなすの調理方法を教えていただいたり、パン作りの先生となすを使ったピザを作ったりした。児童たちは「野菜作りの基本や楽しさが分かった」「多くの伝統野菜の存在やその意味を知った」と学びを深めている。

さらに、パンフレットや壁新聞、紙芝居、映像にまとめて発表したり、伝統野菜作りに取り組む他校とTV会議で交流したり、活動を広げている。

●愛する郷土・地域とともに

子どもたちから出された課題に「流通の少なさ」があった。JAの方々の協力もあり、直売所や近所の公園でのバザーで苗や実の販売体験をさせていただいた。価格設定やポップの作成、販売準備等、子どもたちは積極的に意見を出し合って取り組み、自分たちが育てた伊敷長なすを買ってもらえた時の喜びを共有している。

階 【きざし】

2024年1月16日発行 (No.50)

発行人：佐藤 清 発行所：株式会社 帝国書院

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-29 電話03-3262-4795(代)

©Teikoku-Shoin Co.,Ltd. 2024 <https://www.teikokushoin.co.jp/>

Twitter ID : @Teikokushoin